

# レッカーのチカラ

すべては笑顔のために

レッカーを  
創造して  
みないか？



すべては笑顔のために



**YAMAGUCHI  
WRECKER**

株式会社 ヤマグチレッカー

## CONTENTS

- 04 ヤマグチレッカーの歴史
- 06 レッカー業は何のためにあるのか？
- 08 ヤマグチレッカー3つの強み
- 10 ヤマグチレッカーの可能性
- 12 現場の声①：レッカー製作
- 13 ヤマグチレッカーの主要取引先
- 14 現場の声②：高校卒業で就職
- 16 世界で活躍するヤマグチレッカー
- 18 ヤマグチレッカーの大切にしたいこと
- 19 求める人財像

# 世界一、交通社会(車社会)が スムーズになることを工夫するレッカー会社

今日の社会において、自動車を使った物の移動は必要不可欠となっている。

しかし、物の移動に大変便利な自動車もそれ自体が思わぬ不可抗力により、止まってしまうと、まるで、人間が脳梗塞、心筋梗塞によって死に至るがごとく、交通の流れを遮断し現代のスピード社会の流れを止め、最悪の場合は経済活動をストップさせてしまう。

そうならないために「安全」で、「スピード」の速い作業を行う。

レッカー車製作とレッカーロードサービスの両面から車社会を支える。

ヤマグチレッカーは世界の経済を滞らせないよう、レッカー車を通じて社会に貢献していくことが存在意義である。レッカーにはそのチカラがある信じている。





# ヤマグチレッカーの歴史

創業1984年。18歳になり、免許を取得。まず最初に運転したのがレッカー車でした。先代から、人として大事なことを教わったのは今から思えばレッカー車を通じてでした。先代と2人で苦しみながらも（事故も、夜中も、正月も）レッカーサービスを続けてきたのは、車社会が日本を支え、車社会がスムーズになれば、人間社会がスムーズになると信じてきたから。

そのためにも、よりよいレッカー車にこだわり、「安全」「スピード」が向上できるレッカーを自社で造るようになりました。大げさかもしれませんがレッカー車が人生を教えてくれた。レッカー車が人間社会をスムーズにしてくれた。

だから、これからも日本の社会がスムーズになるように挑戦し続けます。そして今までの日本が恩返しできるには、これからのアジアに我々が学んだことを伝えること。アジアの新興国にスムーズな社会を送ってもらうために、我々はレッカー車を通じて社会を支え続けます。

- 1984年3月 ヤマグチレッカー横浜市西区浜松町に創業
- 1986年6月 有限会社ヤマグチレッカー創立(法人化)  
**日本初**油圧式アンダーリフトUIC-100導入  
**日本初**油圧式レッカーブームアンダーリフト式レッカーホルムス1102/DFT200導入
- 1988年8月 藤棚工場竣工
- 1990年 **日本初**ホルムス3210/MD8000型油圧式レッカー車導入
- 1992年4月 **日本初**センチュリー1040S/SUD型40トンブーム旋回式レッカー車導入
- 1993年7月 米国ミラーインダストリー社 指定架装工場となる  
**日本初** センチュリー211型8トン小型レッカー車導入
- 1994年6月 **日本初** チャレンジャーCH20T型20トン大型レッカー車導入
- 1997年 **日本初** チャレンジャー8808/T50型50トン ブーム旋回式レッカー車導入
- 2000年 **日本初** 後軸3軸大型レッカー車導入チャレンジャー9909/SDU2型70トンブーム旋回式大型レッカー車
- 2001年10月 山口喜久雄代表取締役社長就任
- 2006年6月 株式会社ヤマグチレッカー設立
- 2007年 **日本初**ヤマグチレッカー旋回を開発提案し、完成導入ホルムス600R型開発導入(16トンブーム旋回式)
- 2008年 **日本初** センチュリーメトロ8トン小型レッカー導入
- 2008年9月 **海外** シンガポールモーターショー出展
- 2010年 本牧工場竣工(現本牧営業所)  
 センチュリー1140型40トンレッカー導入
- 2012年1月 **海外** シンガポール YMG TECH PTE LTD設立  
**日本初** センチュリー2465型12トン中型レッカー導入
- 2013年 ホルムス440Y型8トン小型レッカー開発導入
- 2013年11月 **海外** ホルムス440Y型レッカー車シンガポール自動車連盟へ納入
- 2014年3月 **海外** タイ バンコク YMG TECH(THAILAND)設立  
**日本初** センチュリー7035B型35トンレッカー導入
- 2015年4月 ロゴがリニューアル
- 2015年6月 **日本初** センチュリー1150型50トン大型レッカー導入
- 2015年6月 鳥浜工場竣工、本社鳥浜に移転  
**日本初** センチュリー600RY型16トン中型レッカー開発導入
- 2015年10月 **海外** インドネシア ジャカルタ P.T.YMG DEREK LTD設立
- 2016年4月 ミラー社の東南アジア代理店契約
- 2016年9月 横浜パシフィコ トラックショー出展
- 2017年8月 **海外** インドネシアモーターショー出展センチュリー 1135RXP いすゞCYH51S
- 2017年9月 デザイン設計部門設立
- 2018年5月 横浜パシフィコ トラックショー出展  
**日本初** ホルムス440YC(クレーン付)導入 センチュリー9055XL 50t発表
- 2018年12月 **海外** DisHubジャカルタのレッカーオペレーターの研修会を実施 総勢160名に認定証
- 2018年12月 **海外** DisHubジャカルタ44台納入 DisHubバリ 1台納入
- 2019年3月 阪神高速道路2台のレッカー車導入、22名のレッカーオペレーター養成
- 2019年5月 ヤマグチレッカー35周年
- 2019年6月 磯子営業所コールセンター開設
- 2020年3月 センチュリー1140/ニーブーム導入
- 2021年9月 **日本初** 災害対策用“道路啓開用”4輪駆動レッカー車開発



# WHY

## レッカー業は何のためにあるのか？

事業の二大柱はレッカー架装とロードサービスだ。

売上高の7割を占めるレッカー架装は

「方向転換できない細い道でも対応できる機能を備えてほしい」

「少しでも車を動かしたいときに使える小型のウインチを取り付けてほしい」

といった取引先の要望に合わせて設計図を作っています。



## レッカー／特殊車両製作

### ■日本一の納入実績

ヤマグチレッカーは1984年創業のレッカー架装専門メーカーです。製作実績も、首都高速道路（株）様などから、自動車販売店様向けサービスなどあらゆる規模のオーダーに対応が可能です。

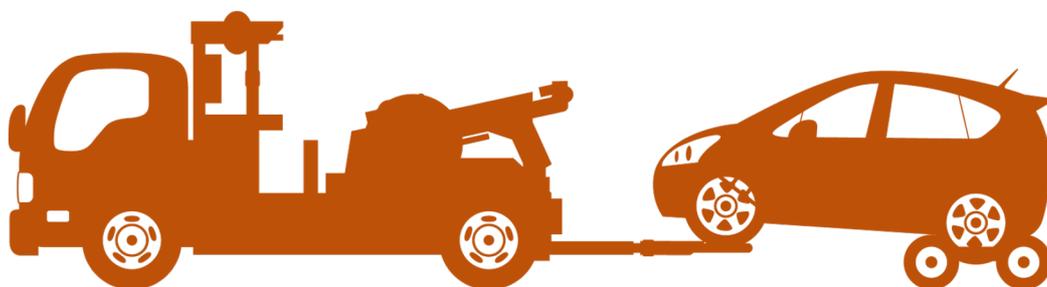
### ■特許技術

ヤマグチレッカーのレッカー車は長年積み重ねられたノウハウをもとに、独自のパーツで特許を保有しています。メイド・イン・ジャパンの確かな技術がここにあります。

### ■高品質・世界基準

ヤマグチレッカーは、世界のレッカー装置の最大メーカーである米国のミラーインダストリーズ社との業務提携を行っています。世界最高、最先端のレッカー装置を、高品質の日本メーカーの車両に架装することができるのはヤマグチレッカーだけです。

マンガでわかる！  
ヤマグチレッカーの仕事



## レッカーロードサービス

ヤマグチレッカーのロードサービスの特征是

- 自社設計・架装
- 小型車から大型車までレッカー可能

ヤマグチレッカーは自社で設

計、架装をしているため、常に、最新鋭のレッカー車を使用し、他社にはない、70tの大型レッカー車を保有しているため大型トラック、バス、トレーラーなどの大型レッ

カーも可能です。

「Speed & Safe」「迅速に、そして、安全に」をモットーに日夜、レッカー車の研究開発と、レッカー作業の向上をしています。



YAMAGUCHI  
WRECKER

株式会社 ヤマグチレッカー

3  
つ  
の  
強  
み

LARGE

大型



REPAIR

現場



PRODUCTION

製造



POINT

ヤマグチレッカーで働くことで  
何でもできる”多能工”な人財になれる！

- ・ 大型レッカー車を造っている
- ・ 大型レッカー車のロードサービスを扱っている

# 復旧

- ・ ただレッカーで運ぶだけでなく  
現地で修理もできる
- ・ 長年積み重ねられたノウハウがある
- ・ 災害の復旧にも対応している

- ・ ただレッカーで運ぶだけでなく造れるほど知識がある
- ・ 世界最大のレッカー装置メーカー米国ミラーインダストリーズ社と  
業務提携をしており、世界最高、最先端のレッカー装置を扱える

# ヤマグチレッカー

リーマン・ショックで一時は社員を半分に減らさざるを得なかった苦境もあったが、ここ数年は売上高が伸び続けています。（21年2月期の売上高は5年前の約6割増し）

- ・自動車保険の無料サービスの浸透で、ロードサービスを利用する人が増加
  - ・ロードサービスの異業種参入も増え「初心者でも扱いやすいレッカー車の注文が増加
- ただ、国内だけでは成長に限界があります。

**飛躍のため力を入れているのがアジアの新興国の開拓です。**

12年にシンガポールで現地法人を設立し、その後タイやインドネシアにも進出。シンガポールでは天井が低い駐車場にも入れるコンパクトな車体が評価され、数台の受注につながりました。

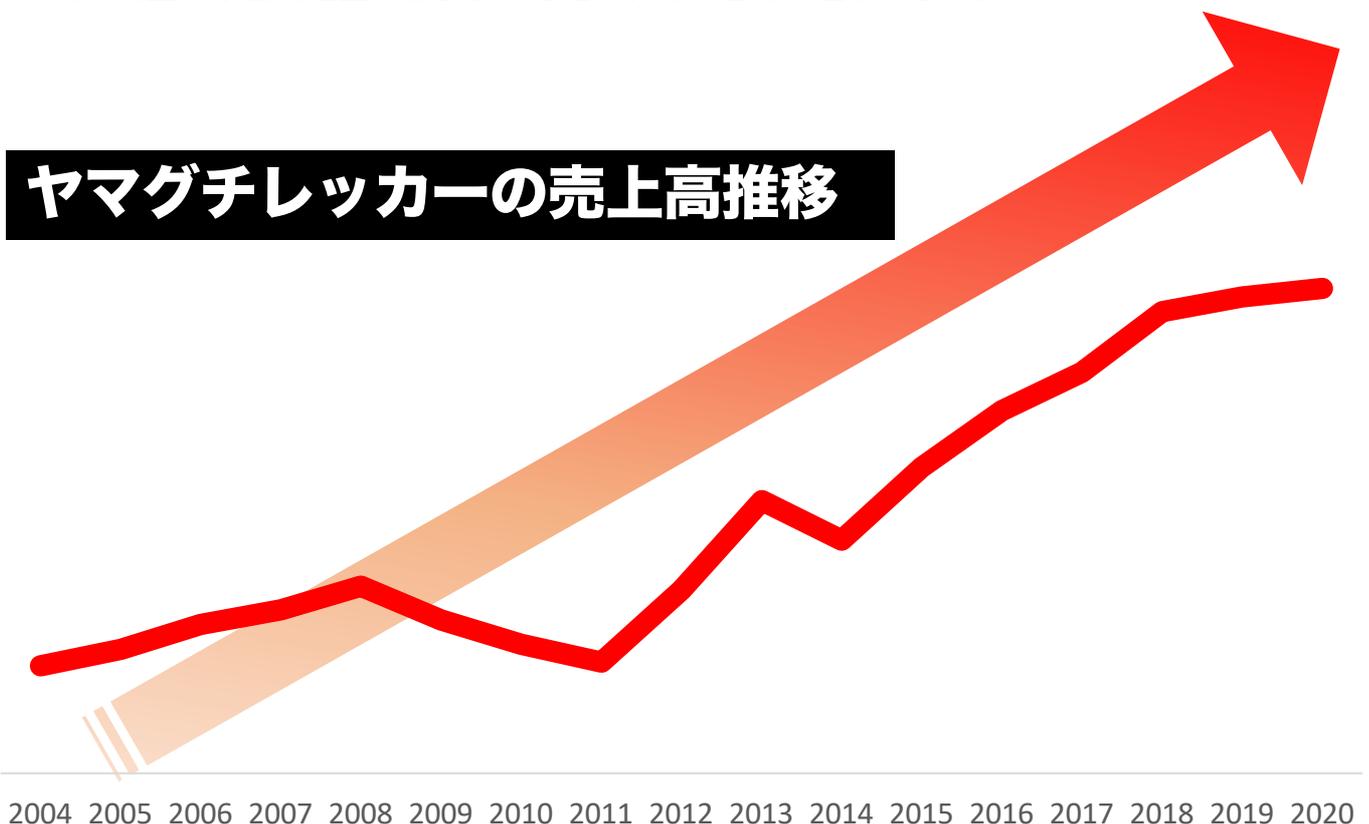
インドネシアでは質の高さが評価され、既に40台以上の納入実績があります。

2020年にはアフリカのジブチ共和国にも大型レッカー車を納品。

まいてきた種の芽が出始めた海外事業。

海外売上高が国内を上回るよう、力を入れていきたいと思っています。

## ヤマグチレッカーの売上高推移



# の可能性

## 日本初 災害対策用レッカー車完成(2021年)



ヤマグチレッカーは常に未来に向かって挑戦をし続けています！

プレスリリース詳細



近年日本では、大雨・台風・地震・津波・土砂崩れ・大雪・火山噴火など自然災害が頻発また激甚化しています。それによりライフラインである道路が被災車両等でふさがれ通行不能になれば国民生活は立ち行かなくなります。その様な悪条件下でも問題なく運用稼働出来ることを目的に開発されたのが、道路啓開用レッカー車です。

※道路啓開とは？

道路を閉塞する要因を取り除き、緊急車両等が通行可能となる救援ルートを確認するための活動です。大規模災害時には、応急復旧実施前に救命・救援ルートを確認する道路啓開が重要となります。

## VISION 企業紹介映像



ヤマグチレッカーのビジョンを含めた企業紹介映像です



# BUILD

## 日本一レッカーを造り、アジアにも進出

日本一の納入実績を誇り、世界最高、最先端のレッカー装置を、高品質の日本メーカーの車両に架装することができるのはヤマグチレッカーだけです。そのレッカー製作の現場で働く人の声を紹介します。

### レッカー車を造りたいと思ったキッカケは何ですか？

車が好きで、製造に興味があったからです。もともとは車の整備をやっている、その後は板金塗装をやっていました。

### どんな時が楽しいですか？

ヤマグチレッカーの場合、お客様によって一台一台注文が違うので、レッカーとひと括りにしても毎回違う造り方になるのです。

車もどんどん変化していくし、アメリカの最新装置が来ても以前と同じようには架装できない。さらにお客様の意見も聞きながら、設計部門と相談しながら造っていきます。

そういう意味で、**自分たちで考えながら造らないといけないが大変ではあるが、逆にそれが**

### 面白いところでもあります。

大きなメーカーで部品がカゴに入ってきて、決まった場所に付けるだけというようなのをイメージしていると、ヤマグチレッカーは違いますね。

あとは自分で造ったレッカー車が街中で活躍しているのを見るのが楽しいですね。テレビなどに映ることもあるし。

自分の頭で考えて造っていくということが好きな人じゃないと、この仕事は向いていないのではないかなと思ってます。

### どんな人がレッカーを造るのが向いていますか？

車が好きな人。重機が好きな人。手先が器用に越したことはありませんね(笑)

あとはその人の努力次第かな。その気持ちがあれば周りの人も

より応援したくなります。

実はレッカーを造っていく上で、必要な知識というのは結構幅広いのです。車の構造や車の働きなどレッカーの専門知識以外にも覚えることは多いです。けれど、最初から全部を理解している人はいません。働きながらそうしたことも先輩たちに教わっていけるので大丈夫です。

### どんな事を考えてレッカーを造っていますか？

耐久性。

過酷な条件で使われる車。常に無理して使われる車なので、それが一番大事な気がします。長いものだと20年～30年走るレッカー車もあります。長く喜んで使ってもらえるように日々頑張っています。

ヤマグチレッカー歴19年  
 淵上雄史



# ヤマグチレッカーの主要取引先

首都高速道路株式会社  
首都高パトロール株式会社  
阪神高速パトロール株式会社

## ■北海道地区

株式会社協栄車輛  
有限会社尾畑商会  
株式会社勝本車輛  
株式会社ランドマーク33  
有限会社サンオート川上  
ヒラタ建設工業株式会社  
有限会社菅野商会  
ワイズ株式会社

## ■東北地区

有限会社水沢ボデー  
有限会社小野寺商事  
三友レッカー株式会社  
株式会社ナルケ自動車  
有限会社ピックアップ  
阿部自動車工業株式会社  
株式会社金森自動車工業  
三瓶自動車工業株式会社  
有限会社狩野商事運輸  
株式会社西武オートパーツ  
有限会社プレゼンツ  
有限会社ニシカワ特殊車体

## ■関東地区

株式会社下沢自動車  
株式会社齋藤レッカー  
有限会社秋間商会  
株式会社小林自工  
株式会社オートレッカー高橋  
株式会社トータスカーアシスタンス  
桜井レッカー有限会社  
有限会社佐藤自動車レッカー  
株式会社大橋商店  
有限会社まりも商会  
有限会社関東レッカー  
株式会社湘南ロードサービス  
キリンオート株式会社  
有限会社山中自動車商会  
有限会社小原レッカー  
有限会社土屋商事  
有限会社湘南レッカー  
有限会社小田原レッカーサービス  
ケイズ京葉株式会社  
有限会社ロードサービス市原  
京王自動車工業株式会社  
有限会社吉喜レッカー  
株式会社ロードワークス  
有限会社ビックワンオート  
有限会社協同レッカー  
株式会社寺尾自動車整備工場  
有限会社根岸自動車

有限会社新座自動車  
有限会社長瀬自動車工業  
株式会社ネットワーク  
有限会社レッカーオートリック  
有限会社はたや自動車  
有限会社ミロク自動車  
小島レッカー株式会社  
株式会社あきば商事  
株式会社茨城警運  
株式会社アムロードサービス  
小川自動車鍍金塗装工業  
株式会社サカイレッカーサービス  
有限会社川手自動車鍍金工業  
有限会社黒沢モータース  
ヨロズモータース 小山  
有限会社小島レッカーサービス  
有限会社ロイヤルサービス  
株式会社KMグラデーション  
有限会社大金商事  
株式会社六七  
有限会社喜多自動車  
有限会社双葉レッカーサービス  
株式会社山梨重機  
河西工業  
有限会社中央鍍金  
株式会社塩那自動車販売  
有限会社リサイクルガレージケーワン  
株式会社杉並モータース

## ■中部地区

株式会社加藤オートリペア  
沼津レッカー有限会社  
岩田産業有限会社  
オートアシスト&サトーレッカー株式会社  
有限会社ワタモ  
有限会社丸義ロードサービス  
株式会社湖北  
株式会社伊藤車輛  
有限会社カマラドガラーヂ  
日之出自動車工業株式会社  
ナゴヤレッカー株式会社  
株式会社トーイングサービス  
ガレージヤマイチ株式会社  
株式会社中央レッカー  
有限会社巻端商事  
有限会社可児自動車  
株式会社トラッド  
株式会社丸三  
株式会社マイティ  
株式会社キタモリ  
鈴鹿自工株式会社  
有限会社森本自動車  
有限会社レッカーサービス110  
有限会社アートサービス  
株式会社モモセボデー  
株式会社小田切車体

## ■北陸地区

谷口自動車工業株式会社  
有限会社勇見内燃機工業  
有限会社サミット  
有限会社魚沼ロードサービス  
株式会社上原自動車工業  
有限会社マルコシ自動車整備工場

## ■近畿地区

株式会社ホルムス  
丸毛自動車工業株式会社  
北摂オート株式会社  
有限会社今本モータース  
株式会社朝日レッカー  
株式会社交通救護センタークサカ  
奥村モータース株式会社  
有限会社馬場崎モータース  
株式会社あかつき  
有限会社万木自動車工業  
有限会社農協自動車  
尾浦自動車株式会社  
五味原自動車工業株式会社  
シーケンシャル株式会社

## ■中国四国地区

有限会社時信レッカーセンター  
山陽自動車興業株式会社  
清水自動車工業株式会社  
有限会社中本クレーン  
有限会社佐藤自動車整備工場  
有限会社山口レッカーサービス  
有限会社松本車両サービス  
株式会社中川自動車商会  
有限会社和氣商店

## ■九州地区

有限会社吉田自動車  
有限会社ドリームライン  
城南石油株式会社  
有限会社福岡車輛サービス  
株式会社サトウ  
有限会社渡辺自動車整備工場  
岩越自動車株式会社  
有限会社山田自動車

## レッカーの製作事例

大型レッカー車から小型レッカー車まで  
豊富な製作事例をホームページで公開中



# MANPOWER

## 高校卒業してすぐ就職、多能工な人材へ

18歳からヤマグチレッカーに就職し、製造(造る)からロードサービス(動かす)まで、幅広く仕事を体験したからこそ実感できる仕事の楽しみ方、職場環境などについて働く人の声を紹介します。

### ヤマグチレッカーの印象や興味を持ったキッカケはありますか？

ヤマグチレッカーは、家業の関係もあって、レッカー業界NO.1の会社であることは知っていました。レッカー業界に興味を持ったキッカケとしては、大きいものを引っ張る事がカッコいい！と思ったことですね。荷物を運ぶとなるとトレーラーなどがありますが、そのトレーラーやトラックすら運べるものってレッカーしかないのですよ！そういう意味だと、**レッカーは唯一無二の存在**だと思っています。

### 働いて感じることは？

もともとレッカーに乗りたくて就職しました。ただ運転するにしても土地勘なども必要になるので、最初工場働きながら、土地勘を養ったり、必要な免許を取得していったらどうかと会社から提案を頂きました。

実際に工場で製造の仕事に携わった後、ロードサービスの仕事をしているのですが、そうした幅広く業務がある中から、自分に合った場所も見つけられるかなと思っています。

### 仕事で楽しい瞬間は？

僕の場合は、**自分で造ったものを実際に仕事の中で動かしている時**ですかね。

例えば、現場で車を吊り上げる際に使うアタッチメントなどを、自分が使いやすい角度に調整して使ったりしています。自分がやりやすいように工夫しながらドンドン仕事に活かしていけるのが面白いです。

**製造とロードサービス、両方を体験したからこそできる仕事**だと思うのでとても楽しいですね。

**そうした物を自由に造っていける環境**ですか？

会社も、そうした作業効率を上げるためや、安全性を高めるような部品の開発などは自由にやらせてくれます。18歳から働いて、今では若い社員もいますが、僕が入社した当時は年上の方ばかりの環境でした。それでも職場の人間関係も非常によく、働きやすい環境だと思います。

### レッカー業界に興味のある人へ

ロードサービスに関して言えば、現場に行って困っている人を助ける仕事なので、基本的に感謝されますし、笑顔になって喜んでいただけます。そうしたお客様の声を直接聞けるのはとても嬉しいです。レッカーとひと括りに言っても、製造からロードサービスまで、いろいろ働き方の選択肢があるのがヤマグチレッカーです。楽しい職場ですし、若い人の力もまだまだ必要と思うので、ぜひ一緒に働きましょう。

ヤマグチレッカー歴7年  
岩田和哉





## レッカーという唯一無二の存在



# GLOBAL

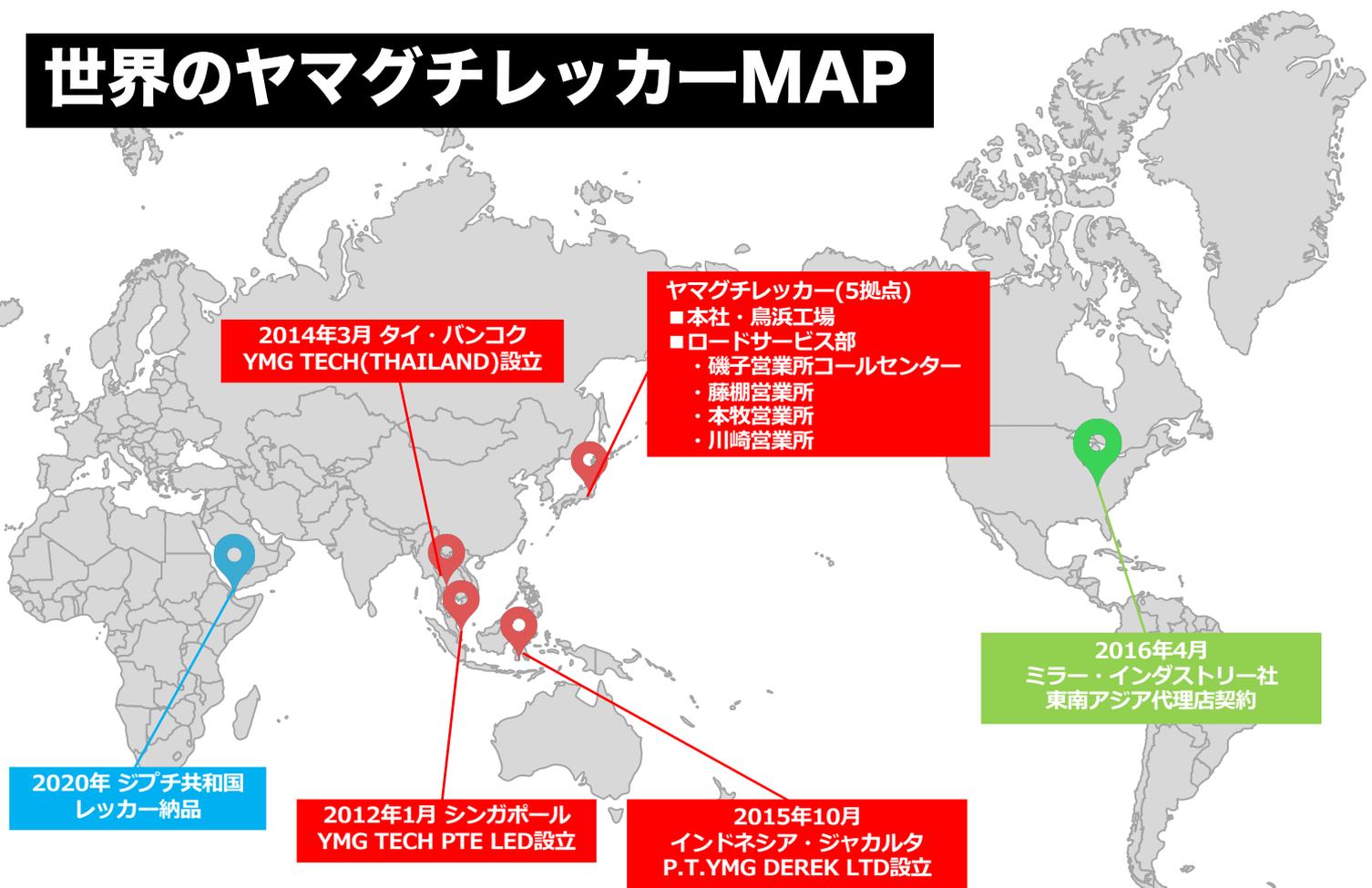
## アジアのレッカー王・アジアNo.1のレッカー会社

日本は人口減少、車社会の成熟により、市場は減少するばかりだが、アジアは、人口・車台数ともに急成長しています。ヤマグチレッカーは日本以外にも、シンガポール、タイバンコク、インドネシア ジャカルタにグループ会社を展開しています。

我々の目指すところはアジアNo.1のレッカー会社です。アジアでNo.1の会社になることにより、スムーズな社会、スムーズな車社会を送ってもらうための、日本で我々が学んだことを伝えていきます。その結果、アジアの発展に寄与したいと思っています。

海外納入実績はシンガポール 2台、ジャカルタ 44台、バリ 1台、スラバヤ3台、ジャカルタ清掃局5台、マラン1台、ジプチ1台。その他にもジャカルタでレッカーオペレーター研修会を実施し、総勢160名に認定証を発行しています。

## 世界のヤマグチレッカーMAP



日本を含めてアジア全域での  
トータルサポート体制を確立するために



スラバヤ3台納入



ジャカルタ44台納入



スラバヤ オペレーター研修



ジャカルタ オペレーター研修

2020年アフリカのジブチにもレッカー車を納入



ジブチ アリ駐日特命全権大使を表敬訪問



ジブチにレッカー納品+オペレーター研修

レッカーの最新技術を学びに  
アメリカのミラー社を定期的に訪問

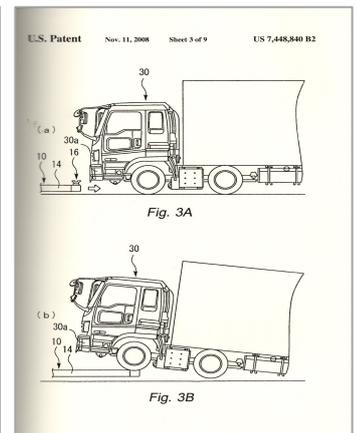
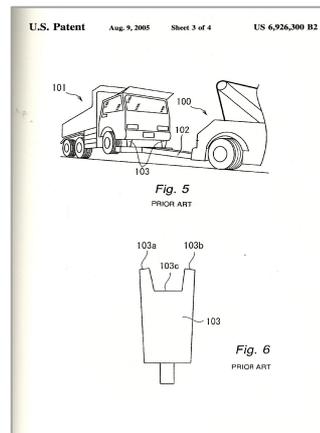


アメリカ ミラー社の工場見学



アメリカ ミラー社にお客様と

日米両国にて車両牽引用アタッチメント  
(イーグルアタッチメント) 車両牽引装置の特許を取得



# Philosophy

## ヤマグチレッカーの大切にしたいこと

### ヤマグチレッカーが持続発展するための哲学（考え方、思想）

人生はいろいろな事があります。企業もまた、良いときもあれば、悪いときもあります。それでも、存続させていただけるには、自分が成長し、世の中に貢献していくしかないのです。そのための考え方として

## 「若い時の苦労は買ってでもしろ」

苦労を経験せず楽に立ちまわれば、将来何かがあったときに対処できる能力が付きません。逆に苦労とともに経験したことは、自分を鍛え、必ず成長に繋がります。楽な道を選択せず、確実に成長できる道を選択しましょう。

## 「夫子の道は忠恕のみ」

忠恕(ちゅうじょ)とは、自分の良心に忠実であること、他人に対する思いやりが深いこと。人として大切なのは、お金だけや、名誉だけではなく、人生は人との接点の積み重ねで出来ているのだから、忠恕、真心や思いやりを大切にしたいものです。

さらに、人生には、いろいろな出来事が降りかかります。「こんちきしょう」や「この野郎」と思うことも出てきます。そんなときでも、投げやりになったり、自分の実力を過信することなく、悔しい気持ちは胸にしまいながら、真面目に、一筋に、コツコツとやっていくしかないのです。コツコツとは一途一心と同義です。その根底にあるのは、無心です。心に雑念、妄念が入っては、人間、コツコツにはなれないのです。

己の一切を学問にささげ、事業に傾け、仕事に没頭してこそ、はじめて、<sup>ふしぎ</sup>異常の働きができるのです。己の大きな向上、躍進、感性は己をむなしくすることです。身をささげることです。ここに必ず真の幸福が添うのです。

真の“誠”は何よりもまず、己のつとめに打ち込むところから始まるといってもよいでしょう。

すなわち“誠”に至る出発点は何よりもまず自分の仕事に打ち込むということでしょう。

総じて自己の務めに対して自己の一切を傾け尽くして、これに当たる。即ち、もうこれ以上は尽くしようがないというところを、尚もそこに不足を覚えてさらに一段と自己を投げ出していく。これが真の“誠”へのあゆみというものでしょう。

山口喜久隆

## ヤマグチレッカーの 採用案内ページを見る



# 求める人財像 未来のヤマグチレッカーに必要なDNA

私たちが求めるのはヤマグチレッカーによって自らを進化させ、  
ヤマグチレッカーに進化をもたらす人財

- ・背伸びをしてでも目標へ手を伸ばさずにはられない
- ・日々進化し続けるためにも学び続ける意欲がある
- ・自分も会社も世の中までも、変えたいと望む
- ・常に次のステージを見据え、自らの開拓に貪欲である
- ・チャレンジに手加減せず、最後までやり遂げる
- ・信念を持ち、誠実さを貫ける
- ・日本だけにとどまらず、海外にも進出していきたい
- ・あるべき姿を追求するためには、立場や関係性を超えた主張を厭わない
- ・常に既存の概念にとらわれない新しいものを探求している
- ・正解がない状況こそ楽しめる
- ・タフな状況も、周囲を引き込み楽しめる情熱がある
- ・多様な文化、相違する意見の中にこそ宝があると知っている
- ・互いを生かし合えるチームこそ無限の可能性があると信じる
- ・未知の経験や出会いを大切にする

このようなDNAを持つ方と一緒に未来のヤマグチレッカーをつくっていきたいです。  
それが私たちの採用メッセージです。レッカー業界のリーディングカンパニーであり続けるために、進化は宿命。予測不可能な未来のヤマグチレッカーを造れるDNAが必要です。

今だけでなく、**10年後の人財**がほしい！  
我々は育つのに10年待つ。  
だから、10年間我々を見て欲しい。



40tから70tまで日本一のレッカー 納入実績No.1

